学校番号	３０７

令和８年度　吹奏楽・合唱 科

教科	吹奏楽・合唱	科目	演奏研究・発表	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・吹奏楽コースの「演奏研究・発表」の授業では、自分たちの演奏会について、企画・運営・プログラミングをして、充実した演奏会にする事を目的としています。そして、聴いていただく方々にも喜んでいただけるコンサートを行う事により、演奏する側もさらに達成感が持てるように計画的に進めていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
自主公演として、サマーコンサート、クリスマスコンサート、定期演奏会を成功させるために、演奏技術の向上させること。
【思考力、判断力、表現力等】
コンサートを企画・立案して、実際に具体化できることを目標に考えること。
【学びに向かう力、人間性等】
自主公演として、サマーコンサート、クリスマスコンサート、定期演奏会を成功させるために、演奏に必用な事柄を全て考えて取り組めることです。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技術や技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作について思考・判断・表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて取り組む。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	サマーコンサート	・コンサートの企画 ・選曲について ・演出について ・練習計画 ・広報	a:演奏技術をいかして、創意工夫をいかした取り組み。 b:演奏する側、聴く側にとっても充実した演奏の機会になるように、思考・判断・表現を工夫しながら取り組む。 c:主体的な豊かな表現を目指す	資料	レポート	観察
	地域の依頼演奏	・地域の方との打ち合わせ ・選曲 ・演出	a:演奏技術をいかして、創意工夫をいかした取り組み。 b:演奏する側、聴く側にとっても充実した演奏の機会になるように、思考・判断・表現を工夫しながら取り組む。 c:主体的な豊かな表現を目指す。	資料	観察	観察
2	香里丘吹奏楽フェスタ	・中学校にむけた広報 ・企画 ・作曲家「酒井　格」との打ち合わせ	a:演奏技術をいかして、創意工夫をいかした取り組み。 b:演奏する側、聴く側にとっても充実した演奏の機会になるように、思考・判断・表現を工夫しながら取り組む。 c:主体的な豊かな表現を目指す。	資料	観察	観察
	クリスマスコンサート	・コンサートの企画 ・選曲について ・演出について ・練習計画 ・広報	a:演奏技術をいかして、創意工夫をいかした取り組み。 b:演奏する側、聴く側にとっても充実した演奏の機会になるように、思考・判断・表現を工夫しながら取り組む。 c:主体的な豊かな表現を目指す。	資料	観察	観察
3	定期演奏会	・コンサートの企画 ・選曲について ・演出について ・練習計画 ・広報	a:演奏技術をいかして、創意工夫をいかした取り組み。 b:演奏する側、聴く側にとっても充実した演奏の機会になるように、思考・判断・表現を工夫しながら取り組む。 c:主体的な豊かな表現を目指す。	資料	レポート	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度